

第16回世界ソフトテニス選手権大会 日本代表選手団

10月に中国で開催される第16回世界ソフトテニス選手権大会に日本代表として出場します。皆様の熱い応援をお願いいたします！

大会日程	2019年10月25日(金)～11月1日(金)
会場	Tennis Court of Taizhou Sports Center(中国)
開催種別	国別対抗戦、シングルス、ダブルス、ミックスダブルス

日本代表選手団

団 長	北本 英幸	石川県立金沢伏見高等学校	団 長	北本 英幸	石川県立金沢伏見高等学校
男 子			女 子		
監 督	中堀 成生	NTT西日本	監 督	齊藤 広宣	松戸市役所
コーチ	川村 達郎	宇部興産	コーチ	菅野 創世	川口市役所
トレーナー	田中 京介	せんだメディカルクリニック	トレーナー	川上 晃司	天理大学
選 手	内本 隆文	早稲田大学	選 手	林田 リコ	東京女子体育大学
	船水 颯人	ヨネックス		島津 佳那	東京女子体育大学
	長江 光一	NTT西日本		高橋 乃綾	どんぐり北広島
	丸中 大明	NTT西日本		黒木 瑠璃華	ヨネックス
	中本 圭哉	福井県庁		半谷 美咲	どんぐり北広島
	鈴木 琢巳	福井県庁		尾上 胡桃	日体桜友会

団 長	男子チーム監督	男子チームコーチ	男子チームトレーナー	女子チーム監督	女子チームコーチ	女子チームトレーナー
						
北本 英幸	中堀 成生	川村 達郎	田中 京介	齊藤 広宣	菅野 創世	川上 晃司

男子選手			女子選手		
					
内本 隆文	船水 颯人	長江 光一	林田 リコ	島津 佳那	高橋 乃綾
					
丸中 大明	中本 圭哉	鈴木 琢巳	黒木 瑠璃華	半谷 美咲	尾上 胡桃

機関誌「ソフトテニス」のお知らせ

(公財)日本ソフトテニス連盟は、多くの人にソフトテニスを知っていただくために機関誌を毎月1回発行しています。本連盟の広報誌として位置づけられ、主催大会の結果や表彰写真はもちろん、国際大会のレポートや日本リーグのチーム紹介、全国各支部の大会結果等を掲載しています。他では見られない情報が満載です。ぜひご購入ください。お申込みはホームページから。 <http://www.jsta.or.jp/>



I. ソフトテニスの普及振興事業

1. ソフトテニス競技規則等の制定事業

- (1) ソフトテニス競技の振興と競技性の向上等、必要に応じてハンドブックの見直しについて検討を重ねた。今後も更に検討を重ね、ソフトテニスハンドブックやジュニア審判マニュアルに反映を図ることとした。
- (2) テニスコート基準の改訂を検討し、ASTF会議に提案した。
- (3) ASTFにおけるリーダー国として、国際競技規則の国際普及の推進を図った。

2. 全日本ソフトテニス選手権大会等開催

- (1) 国内競技会を大会実施要項に基づき実施した。
 - ① 平成30年度各大会実施要項に基づき、各種大会を実施した。
 - ② 国民体育大会種別参加チーム数のローテーションにより種別参加チーム数の改訂を行った。
 - ③ 大会要項の改定
 - ア. 全日本シングルス選手権大会の参加数を改定した。
 - イ. 全日本社会人選手権大会および全日本シニア選手権大会の種別を変更した。
- (2) 大会の検討と大会運営の改善
 - ① 第18回アジア競技大会日本代表選手予選会をシングルス種別で実施した。
 - ② 全日本シングルス選手権大会に参加資格として前年度全日本選手権大会ベスト8を追加した。
 - ③ 全日本社会人選手権大会及び全日本シニア選手権大会の種別の変更をした。
 - ④ 全日本団体選手権大会の開催に向けて検討をしてきたが、会場や日程の問題などを鑑み、今後の検討を中止とし、全日本ミックスダブルス選手権大会は実施する方向で継続して検討した。
 - ⑤ 日本スポーツマスターズ大会は北海道胆振東部地震の影響により中止となった。
 - ⑥ ユニフォーム等の着用基準を利用者のニーズと合致した基準に改訂するとともに、Q&Aを作成し、改訂内容のわかりやすい説明と運用に努めた。
 - ⑦ これまで当日公開であった個人戦の組み合わせについて、事前公開を実施した。2019年度より日本連盟主催の全ての大会において事前公開を実施することとした。
 - ⑧ ダブルス時のペアのユニフォームを統一し、かつ対戦相手と異なるカラーを着用するよう奨励した。
 - ⑨ 広報推進の観点から、試合経過をホームページで速報配信した。
 - ⑩ 選手変更方法について個人戦および団体戦における選手変更方法を見直し、2019年度大会より実施することとした。

3. 地域等における競技会開催に補助を行った。

4. 加盟団体が行うソフトテニスの競技力向上と普及振興支援を行った。

5. ソフトテニスの広報活動

- ・ アジア競技大会の代表選手の記者発表を実施した。
- ・ 各主催大会において試合結果(途中経過も含む)や記録・写真・動画の速報配信を行った。
- ・ ホームページのスマートフォン対応を図り、より親しみやすい画面に刷新した。

II. ソフトテニスの競技力向上事業

1. ソフトテニスの競技力向上、医科学研究調査

(1) 競技力向上

1) 競技者育成プログラムの推進

- ・ 一貫指導システムの構築を図り、競技者育成プログラムをStep1からStep5の過程を経て実施することにより、競技力を向上させた。Step-1からStep-3は(独法)スポーツ振興くじ助成金対象事業。Step-4はスポーツ拠点化事業として実施した。

2) 日本代表チームおよびナショナルチーム及び全日本U-14、U-17、U-20の強化合宿を実施した。

(2) 医科学研究調査

- ① 強化委員会と医科学委員会が連携し、選手強化や戦略の構築を行った。
- ② 国立スポーツ科学センターのアスリートチェック事業としてトータルスポーツクリニックを実施し、強化選手の各種測定などからデータ収集を行った。
- ③ 強化チーム合宿に、医学部会所属の内科系医師および整形外科医師各1名を派遣し、メディカルチェックおよび身体管理について指導を行った。
- ④ 医学部会所属の栄養士により、強化チーム合宿において「スポーツ栄養」として講習会を実施した。
- ⑤ 強化選手に対し、各年代にあわせた内容でアンチ・ドーピング講習会を行った。

2. ソフトテニスの指導者育成

- ① 公認スポーツ指導者制度の変更に伴い、2020年実施に向けて専門科目カリキュラムの見直しに取り組んだ。
- ② 指導員養成講習会を16都道府県の会場や履正社医療スポーツ専門学校に於いて実施した。
- ③ スポーツ庁からの「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」に基づき、「ソフトテニス部活動指導の手引き」を作成し、ホームページに掲載した。
- ④ 全国小・中・高指導者研修会を愛知県名古屋市の邦和セミナープラザで2日間にわたり実施した。(参加者173名)

III. ソフトテニスの国際振興事業

1. ソフトテニスの国際振興

(1) 国際普及活動の推進

- ① アジア連盟加盟国会議(タイ・チェンマイ2018年12月8日～11日)に参加した。
- ② ASTF会議において、アウトコートのサイズを国際テニス連盟規則に合わせる提案をし、承認された。次回ISTF総会にて諮られる予定。
- ③ 用具・用品の支援として、ラケット・ボールの提供を実施した。
- ④ 国際普及親善活動実施の加盟団体に対して「国際親善大会補助費」を助成した。

[各事業を推進するための組織と財政の強化]

1. 公益財団法人としての高い社会的信用を維持し公益目的事業を行うために、組織体制の強化と財政運営に取り組んだ。
2. 新たに企画部会を発足し、未来構想や長期基本計画の策定、ソフトテニスの認知度向上に向けての施策などの検討を開始した。
3. 大学生対策プロジェクト、高校生対策プロジェクト、中学生対策プロジェクトをスタートさせ、合同会議やそれぞれのプロジェクトの会議を開催した。小学生の対策については生涯スポーツ委員会小学生部会が前述の3プロジェクトとの役割を担い活動を始めた。
4. 会員登録制度の推進
 - ① 制度の周知徹底を行い、会員登録制度を推進した。
 - ② 会員登録手続きの効率化
 - ・ 会員登録システムの活用を向上し、事務効率化を図った。
 - ・ 会員登録システムに連動し、審判、技術等級の認定管理を行った。
 - ・ 支部大会申込システムの活用を促進した。
 - ③ 会員報の発行
 - ・ 年2回会員報を発行して会員登録料の使途及び日本連盟の情報を会員に周知した。
 - ④ 登録状況の把握と改善
 - ・ 加盟団体別及び階層別の登録状況を把握し、年度別登録人数の推移、特に中学3年生の登録状況を精査し今後の対策を協議した。
5. 暴力行為の根絶のため、平成25年12月1日に制定した指導基本規程に基づき、通報窓口と指導基本規程違反の処理機関として、違反救済申立処理委員会を各支部(各都道府県連盟、日本学連、全国高体連、日本中体連)に、違反救済審査委員会を日本連盟に平成26年4月1日より設置し、指導基本規程等諸規程に従った対応を図った。
7. 平成31年2月に加盟団体会長会議を開催した。

会員登録料に関する使途概要(平成30年度)

会員登録料(238,970千円)の使途は主として

- 1 競技力の向上「競技者育成プログラム」
- 2 競技性の向上
- 3 国際性の向上
- 4 大衆化の促進
- 5 広報活動の強化

等々の事業拡充のために用いられていますが、その他として、学連・高体連への還元、会員の傷害補償金および制度運営のための事務費にも充てられています。

具体的な金額は一般会計や特別会計のなかで従来からの支出科目に組込まれているため、かならずしも明確な仕訳になっていませんが、登録料を原資にした補充額は平成30年度は概ね次のとおりでした。

(競技力の向上 67,965千円)

- ・選手強化費(ナショナルチーム、全日本アンダーチーム合宿、国際大会派遣) 19,882千円
- ・競技者育成プログラム推進費(ステップ1～4、支部強化推進) 48,083千円

(競技性の向上 38,887千円)

- ・大会開催地・地域大会への補助、大会表彰 22,883千円
- ・全日本小学生大会・全国小学生大会・都道府県中学生大会 16,004千円

(国際性の向上 10,273千円)

- ・国際大会派遣費 4,007千円
- ・国際大会振興補助費 1,966千円
- ・国際普及指導費(親善大会、大会振興補助、普及指導) 4,300千円

(大衆化の促進 68,038千円)

- ・地域グループ育成費(各支部へ一般登録料の20%還元) 11,451千円
- ・ジュニア育成費(各支部を通じて小・中・高・高専登録料の還元) 38,064千円
- ・愛好者増加対策 7,050千円
- ・ソフトテニス週間、支部中学生大会 5,880千円
- ・審判、指導者育成費(小・中・高生指導者研修会) 5,593千円

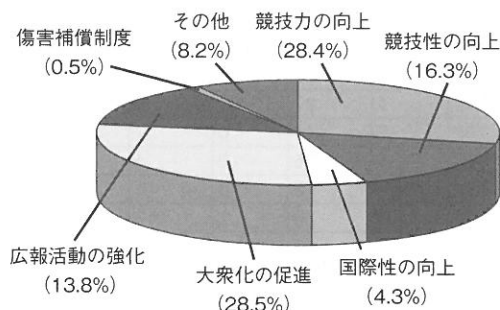
(広報活動の強化 33,059千円)

- ・テレビ放映関係費(NHK全日本選手権大会の番組製作費) 6,468千円
- ・インターネット関係費(ホームページ管理、システム構築) 10,581千円
- ・会員報作成費 3,492千円
- ・機関誌関係費 12,518千円

(傷害補償給付金等 1,247千円)

- ・その他 19,501千円
- ・学連への還元 1,998千円
- ・高体連への還元 4,568千円
- ・中体連への還元 450千円
- ・会員登録事務費 12,485千円

合 計 238,970千円



第74回天皇賜杯・皇后賜杯 全日本ソフトテニス選手権大会 テレビ放送について

10月27日(日) NHK Eテレ
14時30分～16時放送予定
是非ご覧ください。

正味財産増減計算書(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

単位:円

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用収入	564,413	65,729	498,684
会費収入	285,379,500	294,549,000	△ 9,169,500
事業収入	148,176,704	156,690,748	△ 8,514,044
補助金等収入	86,279,341	88,356,485	△ 2,077,144
協賛金寄付金収入	39,750,000	35,300,000	4,450,000
雑収入	6,189,476	5,744,537	444,939
経常収益計	566,339,434	580,706,499	△ 14,367,065
(2) 経常費用			
事業費	225,353,838	219,126,778	6,227,060
管理費	122,252,068	116,288,972	5,963,096
加盟費	753,580	734,876	18,704
競技力向上費	170,199,120	157,820,616	12,378,504
指導者育成事業費	7,720,090	5,258,202	2,461,888
大会開催等関係費	18,030,416	21,807,767	△ 3,777,351
スポーツマスターズ参加支援費	812,026	5,880,996	△ 5,068,970
減価償却費	1,623,192	1,606,192	17,000
経常費用計	546,744,330	528,524,399	18,219,931
評価損益等調整前当期経常増減額	19,595,104	52,182,100	△ 32,586,996
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等 計	0	0	0
当期経常増減額	19,595,104	52,182,100	△ 32,586,996
2. 経常外増減の部	0	0	0
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	19,595,104	52,182,100	△ 32,586,996
法人税、住民税及び事業税	0	0	0
法人税等調整額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	19,595,104	52,182,100	△ 32,586,996
一般正味財産期首残高	694,234,173	642,052,073	52,182,100
一般正味財産期末残高	713,829,277	694,234,173	19,595,104
II 指定正味財産増減の部	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	713,829,277	694,234,173	19,595,104

平成30年度会員傷害補償制度事故実績

本連盟独自の会員登録者向け傷害補償制度の平成30年度給付状況と主な傷害内容は次のとおりでした。

事 故 件 数 34件 支給給付金 1,221,000円

(単位:件)

年度	アキレス腱断裂	骨折	靱帯損傷	肉離れ	捻挫	その他	死亡	計
平成30年度	4	14	6	2	3	5	0	34
平成29年度	5	7	3	7	7	1	1	30

(単位:件)

傷害の内容	一般	大学生	高 専	高校生	中学生	小学生	計
アキレス腱断裂	4						4
骨 折	7			1	4	2	14
靱 帯 損 傷	4	1		1			6
肉 離 れ	2						2
捻 挫	1				2		3
そ の 他	5						5
計							34

充分なウォーミングアップで事故を防止し、ソフトテニスを楽しんでください。万一傷害に遭われた場合は、本連盟にお問い合わせください。

なお、補償内容・給付金請求の手続きについては日本ソフトテニス連盟ホームページの「傷害補償制度」に詳しく記載されておりますので、会員の方はぜひ一度条件の確認をお願いいたします。

会員登録者の実績

(数値：人数)

種別	指導者	一般	小学生	中学生	高校生	高専	大学生	合計
平成30年度	11,543	45,457	18,720	253,099	83,464	1,014	7,614	420,911
平成29年度	11,278	46,143	19,568	268,007	85,176	1,069	7,876	439,117
平成28年度	11,073	46,346	19,728	280,857	85,632	1,037	7,945	452,618
平成27年度	10,572	46,683	19,412	288,530	84,365	1,023	7,690	458,275
平成26年度	9,963	47,230	17,566	289,506	82,964	1,056	7,669	455,954
平成25年度	9,268	48,324	17,260	286,326	81,402	1,037	7,610	451,227
平成24年度	8,751	49,279	17,174	284,478	82,510	1,005	7,800	450,997
平成23年度	7,771	50,221	17,298	284,886	81,730	918	8,076	450,900
平成22年度	6,885	51,525	18,083	285,617	83,555	950	8,492	455,107

平成30年度 会員登録数

No	支部名	指導者		一般		小学生		中学生		高校生		高 専		大学生		合 計	
		会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数
1	北海道	295	175	2,223	38	611	261	7,410	144	3,304	4	111	0	19	622	13,973	
2	青森	286	50	486	17	240	95	3,116	44	919	1	5	1	0	208	5,052	
3	岩手	361	60	1,075	30	434	125	3,554	68	1,799	1	35	0	8	284	7,266	
4	宮城	138	89	1,003	23	486	175	5,252	77	2,571	2	34	3	115	369	9,599	
5	秋田	250	38	486	17	438	74	2,072	38	912	1	21	0	5	168	4,184	
6	山形	179	40	581	20	432	68	2,538	42	1,193	1	4	1	21	172	4,948	
7	福島	443	77	651	32	630	151	5,656	68	1,700	1	35	0	2	329	9,117	
8	茨城	495	72	879	23	605	209	9,064	82	2,279	1	3	0	4	387	13,329	
9	栃木	40	35	749	18	465	116	4,101	50	1,284	0	23	0	23	219	6,685	
10	群馬	228	46	880	23	740	148	5,668	47	1,179	0	0	0	7	264	8,702	
11	埼玉	260	210	3,852	35	1,164	377	17,729	127	4,155	0	1	0	161	749	27,322	
12	千葉	764	111	1,706	23	498	338	15,814	118	3,327	1	15	0	28	591	22,152	
13	東京	173	139	3,040	23	377	188	5,120	177	4,706	1	7	0	108	528	13,531	
14	神奈川	695	91	1,040	17	427	356	18,749	135	3,220	0	0	0	5	599	24,136	
15	山梨	104	51	518	14	275	46	953	30	888	0	0	0	21	141	2,759	
16	新潟	220	54	828	26	489	155	4,166	62	1,305	1	11	0	2	298	7,021	
17	長野	164	37	1,304	16	346	120	3,864	66	1,589	1	22	0	3	240	7,292	
18	富山	140	23	341	17	395	59	2,147	27	916	0	0	0	1	126	3,940	
19	石川	44	50	641	22	388	65	3,076	37	1,068	1	1	1	41	176	5,259	
20	福井	41	31	338	5	168	40	1,212	15	535	1	9	0	2	92	2,305	
21	静岡	697	121	1,462	33	853	312	12,111	83	1,634	2	19	0	7	551	16,783	
22	愛知	274	172	2,948	22	770	354	17,867	142	5,441	0	36	0	11	690	27,347	
23	三重	132	54	601	14	296	142	5,647	49	1,364	1	16	0	27	260	8,083	
24	岐阜	62	63	851	25	567	253	6,016	49	1,861	0	0	0	10	390	9,367	
25	滋賀	113	30	499	14	359	78	955	38	1,357	0	0	0	5	160	3,288	
26	京都	123	87	763	15	338	98	2,889	56	1,643	0	0	0	1	256	5,757	
27	大阪	328	91	1,547	10	221	306	11,177	190	3,273	0	0	0	7	597	16,553	
28	兵庫	266	83	1,433	22	393	302	15,128	145	4,960	2	38	0	1	554	22,219	
29	奈良	126	30	814	9	148	62	2,510	29	925	0	0	0	1	130	4,524	
30	和歌山	204	57	676	18	383	102	2,975	33	945	1	28	0	0	211	5,211	
31	鳥取	73	34	391	11	164	38	998	23	595	1	14	0	0	107	2,235	
32	島根	82	48	374	14	276	47	1,562	41	838	1	0	0	1	151	3,133	
33	岡山	175	57	537	13	248	138	5,526	67	2,184	1	37	0	0	276	8,707	
34	広島	309	127	1,330	16	271	151	5,305	97	2,806	2	39	0	76	393	10,136	
35	山口	172	72	1,212	11	327	104	4,305	52	1,522	3	83	1	16	243	7,637	
36	徳島	145	24	307	10	183	92	1,895	23	532	1	27	0	0	150	3,089	
37	香川	42	28	383	10	243	51	2,258	29	757	2	14	0	1	120	3,698	
38	愛媛	152	37	613	15	305	128	3,963	62	1,318	1	75	0	4	243	6,430	
39	高知	63	27	352	10	136	30	918	21	482	1	3	0	13	89	1,967	
40	福岡	613	76	1,054	16	325	198	6,886	139	2,698	4	76	1	45	434	11,697	
41	佐賀	239	28	359	15	340	73	2,473	41	855	0	0	0	2	157	4,268	
42	長崎	457	60	900	16	369	147	3,916	101	1,891	2	29	0	71	326	7,633	
43	熊本	450	67	804	17	351	136	4,031	57	1,430	2	33	1	4	280	7,103	
44	大分	209	57	547	14	262	100	2,180	29	726	0	13	0	51	200	3,988	
45	宮崎	298	63	526	25	429	156	3,075	41	956	1	18	0	2	286	5,304	
46	鹿児島	344	106	908	41	449	178	4,164	76	1,322	2	40	1	45	404	7,272	
47	沖縄	71	43	640	11	106	48	1,108	28	300	1	16	1	30	132	2,271	
48	日本学連	4	0	5	0	0	0	0	0	0	1	23	420	6,607	421	6,639	
合 計		11,543	3,221	45,457	886	18,720	6,990	253,099	3,195	83,464	50	1,014	431	7,614	14,773	420,911	
昨年度		11,278	3,204	46,143	872	19,568	7,029	268,007	3,211	85,176	49	1,069	443	7,876	14,808	439,117	

(平成31年3月31日現在)